

## 第4回新市建設計画策定小委員会

日時 平成14年7月17日(水)PM1:30~3:11

場所 丹後町役場2階会議室

出席者数 18人(欠席2人)

傍聴者数 3人

主な議題

- (1) 報告第1号 「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査結果報告」  
について
- (2) 協議第1号 新市建設計画について
  - ・「2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」  
(修正について)
  - ・「3 6町合併の必要性」
  - ・「新市の将来像」
- (3) 協議第2号 新市建設計画における財政計画策定の考え方について
- (4) 次回の議題について
- (5) 次回の小委員会の日程

議事経緯

委員長あいさつ

会議成立確認

議題

- (1) 報告第1号 「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査結果報告」  
について・・・確認

主な意見 特になし

- (2) 協議第1号 新市建設計画について・・・継続協議
  - ・「2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」

主な意見

委員 2-1の7行目の田畑が13.9%とあるが、下の現況では田8.3%、畑が2.6%と合っていないなど、数字等間違いがいくつか存在するので精査されたい。

事務局 精査して、後日報告させていただく。

委員 2-3の1行目、久美浜町の「河川を中心に水系1つ」というのはどうか。1-1は各町の総合計画とリンクしているのか。またそのことを文章中に入れておくべきではないか。

事務局 2-3は精査させていただく。1-1は基本的には6町の総合計画が土台にあるが、皆

さんで議論していただいて、新たに整理をし直すということで触れていない。地域バランスを考えて各町の計画を活かし、住民生活に急激な変化を及ぼさないことなど配慮して読み込んである。

委員 2-1の9行目から、「うらにし」など天候の悪いところばかりではなく、もっといい丹後の一年が書けないか。

事務局 表現を工夫するが、委員からも案をいただきたい。

委員 2-20の農業について、現在丹後地域の農業ではハウス栽培が盛んに行われているが、それについても触れておく必要があるのではないか。

事務局 ここは現況のみを記述しているが、各地域の取り組みについては、新市の将来像の中で盛り込みたい。

委員 2-28の観光の部分の2行目に、「日帰り客が全体の7割を占めている」とあるが、何を根拠にしているのか。また、他の業種については金額が出てきているが、観光に関しては金額が出ていないので、数字をつかんで出していただきたい。

事務局 その出典を確認するなど、後日報告する。

委員 2-31主な公共公益施設はどの程度出すのか。

事務局 本文は例示であり、委員より記載すべきものを各町ごとに出していただきたい。これを基に、修正していく。

委員 2-30について、温泉が久美浜に1つしかない。

事務局 温泉の名称については、厳しい見方もされると聞くので、とりあえず記載しており、委員の方々からご指示をいただきたい。

・「3 6町合併の必要性」・・・協議会の協議に係る資料とする。

主な意見 特になし

・「新市の将来像」

主な意見

委員 この将来像の案はどこで考えたのか。

事務局 たたき台として事務局で考えた。小委員会での意見を取り入れ、肉付けをしてよい基本理念としたい。

委員 キャッチフレーズなど公募したらどうか。また、新市の名称など、その都度住民に返して聞いていくなどの手法はとれないか。

委員長 これは継続協議なので、この素案を基に、住民等の色々な意見を持ち寄っていただけたらありがたい。

事務局 将来像には、住民の意識調査を反映させているが、ここで肉付けをしていくのが好ましいと考える。また各町の総合計画では、審議会などを設け策定されるが、この小委員会の役割がそれに代わるものと考えており、委員の活発な意見をお願いしたい。

- 委員 文章が硬すぎる。もっと、住民に分かりやすい文章になるよう頑張してほしい。
- 委員 少子高齢化、生産人口の減少といった所が課題として挙がっているが、もっと若者で活気あふれる、夢のあるまちづくり、若者が住めるようなまちづくりを期待できるような形で、現状の課題を載せた方が夢が持てる。

(3) 協議第2号 新市建設計画における財政計画策定の考え方について・・・確認

主な意見

- 委員 通常、借入額より建設事業費の方が多くなるが、シミュレーションでは借り入れは毎年36億ほどだが、歳出の建設事業費には26億ほどしか足されていないようだがなぜか。
- 事務局 通常の普通建設事業の中でも、道路、建物など合併特例債が充当できるものがあるはずと考え、仮定として通常の起債の方を15%減らして、それを特例債に振り替えている。これは、今後新しい市の財政運営を考えていく上で、既存事業に有利な特例債を充当するのか、特例債事業を全く新規に出すのかということが大事で、今後この小委員会の協議をいただきたい。
- 委員 人件費について、15ヵ年で削減される計画だが何を根拠に、またその他についても削減されているが何を減額するのか。
- 事務局 人件費等については、合併後15年かけて新しいまちの体制を完成させることを前提とし、人口規模等から類似団体の決算状況を参考にスリム化が不可避であり、類似団体に近づけることを想定し作成した。ただ、政策的要素等は全く考慮していない。なお、このシミュレーションは合併協議の参考資料との位置付けで6町で作ったものであるが、同規模団体と比較するとこのような支出構造にもっていかざるを得ないと考えている。

(4) 次回の議題について

新市建設計画について

(5) 次回の小委員会の日程

第5回新市建設計画策定小委員会

日程 平成14年8月20日(火)午後1時30分

場所 弥栄町役場 2階会議室

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

(速報のため、事後修正の可能性あり)